

日本語について (対象：外国人留学生，外国高等学校在学経験者〔帰国生徒等〕)

(2010から2013年度入学者に適用)

この講座の目的は、日本語を母語としない学生が、適確なことばを使って意思伝達を行う能力を身につけることです。とくに、大学生活を送る上で必要になる日本語の技術を学ぶことに重点を置いています。

本学に入学してきたみなさんは、自分の希望や考えをある程度伝えられる力をすでに備えています。次にみなさんがすべきことは、そのレベルで満足するのではなく、日本語で表現されていることをより正確に理解する、自分の考えていることを正確に理解してもらうための勉強です。なんとなく伝わればOK，というレベルは卒業です。

留学生や外国高等学校に在学した経験を持つ皆さんの発想やアイデアは、教員にとって時に斬新であり、刺激的で、強く訴えかけてくるものがあります。そのようなみなさんの考えを、授業の中で知ることが教員にとって幸せなことです。しかしながら、「伝達の過程で」誤解が生まれたり、表現したいことがなかなか伝わらなかったりすることがあり、常々、これはもったいないことだと感じています。正確に伝わらない原因はさまざまです。単純な文法の間違いであったり、漢字の読み間違いであったり、発音の問題であることもあります。また、言語面での問題ではなく、理論立てそのものに矛盾がある場合もあります。

この講座では、言語面での応援をします。多くの学生が嫌う文法も避けては通れません。地道に書く，という作業もともないますから、辛いと思う人もいるかもしれません。しかし、みなさんの表現したいことを理解するためには必要な行程でありますのであらかじめ、修業だと思って参加してください。外国人留学生，外国高等学校在学経験者のみなさんだからこそもつ強みを十分に生かし、本学において、日本語母語話者の大学生に刺激を与える存在になってほしいと願います。

効果的な履修を行ってもらうため、オリエンテーション時にプレースメントテストを行います。これは新入生を対象とするガイダンスの中で行います。プレースメントテストの結果をもとに教員が履修のアドバイスします。どの科目を履修するかは、アドバイスを参考に決めて下さい。

「 」は前学期に、「 」は後学期に開いています。各科目のより詳しい内容はシラバスを見てください。

日本語 A

「読む、聞く、書く、話す」の基本的な4技能の向上を目指す科目です。やや基礎的な内容を中心としますので、基本的な文法の確認や発音の矯正なども含まれます。大学の授業についていく自信が十分でない学生は、この科目から履修することをすすめます。

日本語 B

「A」より「書く」ことを集中して行うクラスです。とくに、大学の講義を受ける上で必要になるレポート、答案、論文の書き方などを学びます。「書く」だけではなく、何かを書くためには、何かを読む作業も必要になりますので、「読む」練習も加わります。

日本語 C

「話す」「聞く」練習を中心としますが、とくに、大学生活を送る上で必要になる表現の技術を中心に学びます。たとえば、ゼミでの発表や、日常生活における口頭伝達などの練習です。

日本語 D

「B」「C」よりさらに高度なレベルで要求される授業で、「書く」ことを中心とします。日本事情に関する内容も含まれます。

日本語 E

「D」と同じく、「B」「C」よりさらに高度なレベルで要求される「表現」を行うための授業です。「読む・書く・聞く・話す」4技能のすべての応用練習で、高度な語句の履修なども含まれます。

日本語 F

「A」「B」「C」よりさらに高度なレベルの日本語力を要求される「聞く」力をつけるためのクラスです。理解を深め、内容を論理的に整理し、伝達するために必要な表現の学習をします。読解や口頭発表もあわせて行います。

日本語特別演習 ・

中・短期間の留学生のための日本語のクラスです。漢字の学習，上級文型，語彙の学習を行います。読解教材は日本文化に関するものを使用し，日本の習慣や時事問題に関する理解を深めます。また，自発的に日本語の文章が産出できるよう，作文やスピーチの練習を行います。

日本語演習（日中翻訳），日本語演習（中日翻訳）

より高度の文章力を必要とする，中国からの留学生のためのクラスです。中国語，日本語で書かれた人文，社会科学の文章を翻訳するトレーニングを通じて，専門分野のレポートや論文の執筆ができるような表現力を身に付けることを目指します。大学院に進学を希望するみなさんには特に受講を勧めます。